

様式第11号（第10条関係）

松本市地域づくり推進交付金事業報告書

申請者（団体）名 岡田地区まちづくり委員会

1 事業名： 民話などの文化遺産を後世に伝える事業	
実施主体	岡田地区まちおこし協議会
実施日（期間）	平成28年5月20日～平成29年3月31日
実施場所	松本市岡田地区 他（中山・浅間温泉・会田）
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 民話フェスティバルの開催 2 民話講演会の開催 3 民話切絵紙芝居の制作 4 史跡を巡るウォーキングの開催
地域づくりの成果・効果	<ol style="list-style-type: none"> 1 民話フェスティバルは松本市周辺では初めての取り組みであったが予想以上の入場者に恵まれ、また、報道機関には高い評価をいただいた。 2 民話講演会は高齢者を中心に民話を懐かしむ人たちが大勢いることが分かった。 3 民話切絵紙芝居の制作活動が5年目を迎え、松本城太鼓門の特別公開に資料を展示することとなった。また、今秋、長野市の出版社が出版する「善光寺街道の民話」に切絵で挿絵を担当することになった。 4 史跡を巡るウォーキングは地区の活性化やコミュニケーションづくりに効果があった。
課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 民話フェスティバルを継続していくためには新たなスポンサーの獲得とさらなる補助金の活用が必要である。 2 民話切絵紙芝居は岡田地区から松本地方と範囲を拡大して、来年度は松本城の民話を紙芝居にしていく。
事業決算額	1,051,910円（うち交付金 100,000円）

2 事業名： 二万五千日展開催事業	
実施主体	岡田地区高齢者クラブ二万五千日会
実施日（期間）	平成28年9月9日（金）～平成28年9月12日（月）
実施場所	岡田公民館

事業概要	岡田地域の美術展 二万五千日展 開催
地域づくりの成果・効果	<p>1 芸術サークルの発表の場を作ることで仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりを推進することができた。</p> <p>2 本年は体験コーナーを設け竹細工、切絵、健康マージャンを大勢の人に体験してもらった。私たちの目的に近づくことができた。</p> <p>3 出品者：102展、入場者：延べ230人／4日間</p>
課題	<p>1 体験コーナーなど次の年につながるPR活動が必要</p> <p>2 他にも芸術活動をしているサークルがあるので参加できるよう、PRしていきたい。</p>
事業決算額	61,036円（うち交付金 30,000円）

3 事業名： 防災備品整備	
実施主体	岡田地区まちづくり委員会（地域づくり部会）
実施日（期間）	平成28年7月～平成29年3月
実施場所	岡田地区7町会、岡田地区地域づくりセンター
事業概要	<p>1 災害時の連絡体制を強化するため、各町会（7台）やセンター（1台）に常備する高性能トランシーバーを2年計画で購入するもの。平成28年度：4台 平成29年度：4台</p> <p>2 3月4日（土）17：00～地区防災訓練での情報伝達訓練で使用</p>
地域づくりの成果・効果	1 災害時において、ライフラインに影響が出た場合の各町会同士の情報共有やセンターからの情報伝達により、迅速な対応が可能となる。
課題	2 地区防災訓練において、塩倉町会・山浦町会から本部（岡田体育館）への感度状況が山間地であることから弱かったため、今後近隣町会経由としなければならない。
事業決算額	164,252円（うち交付金 137,736円）

4 事業名： おかだ夏まつり事業	
実施主体	おかだ夏まつり実行委員会
実施日（期間）	平成28年7月23日（土）
実施場所	岡田地区地域づくりセンター駐車場・岡田体育館駐車場
事業概要	1 第31回おかだ夏まつり事業として、地域住民による実行委員会を組織し、各係（総務、会場、花火、出店、協力券、交通

	<p>指導、交流)に分かれ実施</p> <p>2 今回新たに、女鳥羽中学校生徒会に呼びかけ、生徒3名に進行役をお願いした。来場者：約2,000人</p>
地域づくりの成果・効果	1 地域住民が主体となって実施する本事業では、住民同士のコミュニケーションが図られるとともに、世代を超えた交流が期待できる。
課題	<p>1 財源が少ないことから、協賛金を集める際の工夫が必要である。</p> <p>2 世代を超えた住民が多く集まる事業でもあることから、本事業をきっかけとして、何か地域づくりに活用できないか検討が必要である。</p>
事業決算額	2,034,989円(うち交付金 190,000円)

5 事業名： 里山再生事業	
実施主体	里山をつくる会(名称変更：岡田里山を耕そう会)
実施日(期間)	平成28年6月～平成29年3月
実施場所	岡田地区内(神沢・矢諸など)
事業概要	<p>1 遊休牧場跡地を活用した馬飼育開始にともなう周辺整備事業(馬搬やホースセラピーなど、里山事業の中心的存在になる馬の導入に際して)</p> <p>2 遊休果樹園跡地を活用した初心者向け家庭菜園整備事業(ありんこファーム事業)</p>
地域づくりの成果・効果	<p>1 平成28年7月に馬を受け入れ、地域へのお披露目をした結果、地元の家族や子供たちが里山(牧場)に足を運んでくれるようになった。また、11月にNPO法人(里山保全再生ネットワーク)より、ピザ窯の無償提供を受け、釜を活用したイベントを4回開催し延べ125人の参加があった。</p> <p>2 過去の開発によって環境が改変された結果、土砂崩れや泥水の流出など、水はけの悪い地盤が形成されていたのだが、「大地の再生」という土木的手法により環境改善工事を実施した結果、外来種が大勢を占めていた植生が少し在来のものになりつつある。</p> <p>4 岡田地区松くい虫対策協議会で実施している松枯れ対策事業とともに、周辺森林(登記上農地など)も整備することで、里山全体が明るく、風通しの良い空間へと変わっている。今後は</p>

	<p>山菜やキノコ、薬草など山の恵みが手に入るような事業を進めたい。</p> <p>5 企画運営等が盛んになってきたことで、住民有志の方と事業体の共同作業の機会が増え、「お遊び」から「事業」へと発展しつつある。</p> <p>6 休耕地を利用した貸農園(ありんこファーム)の利用状況は、21区画/29区画中の利用者あり。 現在試験的にヤマトの糞やもみ殻燻炭を利用した事業を実施している。また、安全対策を図るため、耕運機のセミナーを5回行った。今後、希望者が増えることが予想されるため、別の休耕地を借り、面積を拡大する予定</p> <p>7 平成29年度には実際に林業の現場での馬搬を予定。今後は更なる技術の研鑽に努め、馬搬や馬耕、馬と働くという文化の伝承と振興に励みたい。また、コミュニティを育む場として里山に人を呼び込むための仕掛け(企画)等、積極的に発信をしていきたい。その第一段として、定期的(月一回)に地域の子供たちが、牧場をフィールドとして自然の中で遊べる『森がおもちゃ箱探検隊』を企画。それを見守る大人を養成する『森遊びインストラクター養成講座』も合わせて企画、開催予定。 新たな事業の展開として『ヤマトコイン』(地域通貨)の発行を検討。金銭に頼らない労働と対価の流れを作ることで、体験の場と機会の創出、世代間の交流、必要な労働力の確保等を目指す。</p>
<p style="text-align: center;">課 題</p>	<p>1 里山利用という面での牧場整備はまだまだこれからの部分もある。</p> <p>2 人が集まり憩える場所としてひとまずの形は整ったものの、大人数や天候の悪い時にはまだ十分な対応ができない。トイレや駐車場に休憩所等、更なる整備を進める事が重要</p> <p>3 今後の整備に伴う人材の確保や体制づくり、事業を運営するため組織の拡充が必須</p> <p>4 松枯れ対策事業地と合わせ、里山の所有者と土地賃貸借契約を結び、一体的な森づくり・里山空間活用などを地域住民を広く巻き込んで展開していきたい。</p>
<p>事業決算額</p>	<p style="text-align: center;">100,000円(うち交付金 100,000円)</p>

6 事業名：暮らしと健康づくりーライフサイクルにそって	
実施主体	岡田地区まちづくり委員会（健康・福祉部会）
実施日（期間）	平成28年12月3日、12月10日、平成29年1月14日
実施場所	講座：岡田公民館 会議室 託児：岡田福祉ひろば 教養娯楽室
事業概要	<p>1 一生を元気で生きていくための秘訣や見落としがちな病気を医療の専門分野から学ぶ。こどもから働き盛りの中年層までライフサイクルにそって学習会を3回開催。学習、教育の分野から岡田公民館、富岡館長がアシスト役。</p> <p>2 12/3、12/10の講座は子育て世代の参加支援として託児見守りルーム（福祉ひろば教養娯楽室）を開設し、保育従事者・ボランティア部会の協力を得て託児を行った。</p> <p>①第1回 こどもの健康づくりと応急手当 県立こども病院：樋口 司先生 ・こどもの必須健康習慣といざという時の応急手当</p> <p>②第2回 ママと母さんの健康づくり 産婦人科医：竹内 はるか先生 ・女性特有のがん検診の勧め。更年期障害の乗り切り方。避妊具。家庭での性教育。</p> <p>③第3回 働き盛りの落とし穴 小見山医院：小見山 祐一先生 ・前立腺肥大症の症状、日常生活での注意点</p>
地域づくりの成果・効果	<p>1 参加人数20～34名。とくに、働き盛りの講座は、男性の参加と、配偶者の参加が多かった。自分の健康、家族の健康を見直すきっかけとなった。</p> <p>2 初めての試みとして託児を開設。2講座合わせて延べ14名のこどもさんを預かった。今後も講座等、子育て支援として活用できるノウハウを得ることができた。</p>
課題	<p>1 健康づくりに関心をもってくださいの方がどれだけいるのか把握しなかったため、地区役員等の動員せずに実施したが、参加者が少なくて残念だった。</p> <p>2 講座開催の回覧・告知の仕方、新聞の掲載など発信の仕方を工夫する必要がある。</p>
事業決算額	57,000円（うち交付金 45,000円）

7 事業名： 送迎ボランティア事業				
実施主体	岡田地区まちづくり委員会（健康・福祉部会）			
実施日（期間）	平成28年4月1日～平成29年3月31日			
実施場所	地区内			
事業概要	1 保険加入（全国社会福祉協議会）加入 ・送迎ボランティア 「ボランティア活動保険」加入と手続き ・送迎利用者 「送迎サービス補償」加入と手続き			
	2 『岡田送迎ボランティア隊』会員に向け、昨年度の実績、今年度の活動予定について通知（6月）			
	3 今年度の活動			
	活動日	事業名	ボラ活動人数	利用者数
	4/12,6/23,8/23 8/30,9/15,11/8	体力づくり サポーター	6	6
	5/19,6/15,8/4 11/17,12/15	ふれ健	7	16
	7/4,10/26	男衆の料理	2	2
	7/5,7/14,7/21 7/28,12/1,2/9	ピンキラ健康講座	6	6
	7/13,7/27,9/1 10/5	岡田小学校 クラブ支援	5	11
	7/23,10/25 3/9	ふれあい会食会	15	42
	9/12	グラウンドゴルフ	2	4
	10/20	キラキラ☆ウオーク	1	1
	11/10	岡田小学校収穫祭	1	3
	1/21	ひろば20周年 新年会	2	7
	9/5,10/3,11/7 1/4,3/6	男組	6	10
	述べ人数	53	108	
地域づくりの	1 送迎ボランティア総数：31名			

<p>成果・効果</p>	<p>(送迎ボランティア活動人数延べ：53人) 送迎利用者述べ：108名</p> <p>2 福祉ひろばに来られない方も参加ができ、事業参加者が増えた。</p> <p>3 町会によっては、「おたがいさま」の精神で自然と送迎が出来ている所もある。</p>
<p>課題</p>	<p>1 送迎ボランティアへのお礼、ガソリン代の支給等。(実費精算、道路運送法の縛り)</p> <p>2 利用者拡大に向け、送迎ボランティア自身が、お隣ご近所等ひろば事業への参加を促す声掛けを行う必要がある。</p> <p>3 利用者乗車中の交通事故の心配。</p> <p>4 今後、買物支援や通院等の生活の足として提供ができるか。</p>
<p>事業決算額</p>	<p>8,441円 (うち交付金 0円)</p>

※ 事業実施が確認できる資料(チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等)を添付してください。